

見晴台自治会 だより 2022(令和4)年 11月 通算333号

発行・編集 見晴台自治会事務局 〒067-0042 江別市見晴台 54-5 見晴台自治会館 TEL011-378-9884



自治会館の電話番号が変わります



011-378-9884

10月17日(月)電話の配線工事が完了し、自治会館にWi-Fiが開通しました。それに伴い自治会館の電話番号が変更になります。現在の電話番号も12月31日までは使用できます。

〔事務局〕

バスの旅～今年は紅葉を見てきました！

10月22日(土)「見晴台野外活動バス旅行」を開催しました。今回の旅では、役員含め47名がバス2台に分乗し、支笏湖、夕張滝の上公園など、紅葉の名所を巡ってきました。

雲の少ない晴れた日で、日の光でキラキラ輝く紅葉を堪能しながら、行った先々で参加者同士、交流を深めることができました。

〔事業推進部〕



↑えこりん村にて



見晴台住民数 (令和4年10月1日現在)
 男性 2,054人 (前月比 2人増)
 女性 2,236人 (前月比 4人減)
 合計 4,290人 (前月比 2人減)

〔11月の行事予定〕

- | | | | |
|--------|-------------|--------|------------------|
| 1日(火) | 自治会だより発行 | 12日(土) | 10:00 新そば交流会 |
| 4日(金) | 19:00 運営委員会 | 19日(土) | 8:30 資源回収 |
| 5日(土) | 8:30 資源回収 | | 自治会だより原稿締切 |
| 6日(日) | 9:00 花壇片付け | 24日(木) | 10:00 むつみ会 |
| | 会館清掃 | | 14:00 自治会だより編集会議 |
| 10日(木) | 10:00 むつみ会 | 28日(月) | 9:00 自治会だよりほか配付 |
| 11日(金) | 19:00 役員会 | | |



見晴台支え合い見守りづくり⑦

このコラムは、4年前、平成30年6月（通算280号）から掲載が始まり、江別第一包括支援センターと連携し「支え合い、見守りづくり」に関する情報提供の場として継続してきました。当初は、健康福祉部、事務局共同の執筆でした。

これまで、多くの情報を皆様にお伝えし、自治会としての「高齢者を見守っていく」姿勢を示してきたのではないかと自負しています。今後もこの姿勢は続けていきたいと考えていますが、今回は、ちょっと視点を変えて、私たちの住むこの見晴台に、いつのころから人々の営みと支え合い・見守りがあったのだろうかを探ってみようと思います。

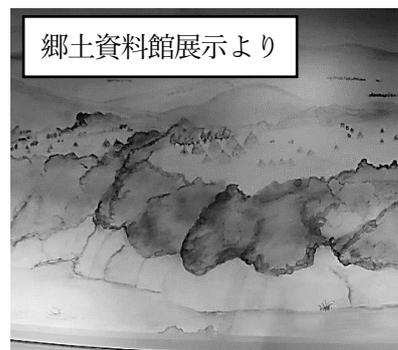
むかし、むかし…その壺(イチ)

まず、地球の歩みから、簡単に振り返ってみましょう。

46億年前に、微惑星の衝突で誕生した地球は、マグマの塊の状態から水を含んだ微惑星の吸収により海の生成と地表温度の低下をもたらし、様々な生物が誕生し繁殖するようになりました。その後、何回かの氷河期と地殻変動を繰り返して、人類の出現と共に現在の大陸や日本列島が形づくられました。

最終氷期の後も、気温の寒暖を繰り返しました。気温が低い時は、氷河が拡張するため海面が低下し陸地が広がり、大陸と陸続きとなりナウマンゾウやヒトも大陸から渡ってきました。反対に気温が上昇すると、氷河が溶け出し海水が増え、海が内陸まで入ってきます。

いわゆる「海進」と言われるもので、6000年前の縄文時代の海進では、海岸線が深く入り込み「古石狩湾」は野幌丘陵まで迫りました。元江別や見晴台の北側は、海岸線だったのです。5丁目通りを工業町に向かうと見晴台を過ぎたあたりから下り坂になり、旧豊平川と平行して崖が連なっています。(右図)そこが、海進の時の石狩湾の波打ち際だったのです。



江別市で最初に人類の営みが認められるのは、縄文時代の海進の時期と同時期ですが、数は、極わずかに過ぎません。

時代が進み、縄文中期(3000～2000年前)になると、当時の地層から石器や土器が出土、住居跡や付属施設も数多く見つかっています。平成11年まで行われた「高砂遺跡」調査では、200軒の住居跡が発見されました。今日の住宅団地と言えそうです。

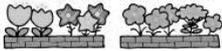
直径3～4メートルの住居は、カマドやベンチ等が備えられ、集落の周りには、動物を狩猟するための仕掛けもあったようです。また、住宅の入口は共通して南に向いて開けられていました。おそらく、冬の北風を避けるためだったのでしょう。当時の人の生活ぶりを、様々な観点から思い描くことができます。

私達の住むこの場所は、日本でいえば北の外れで、人が住み出したのは随分後になってからではと思っていましたが、そうではないのです。太古の昔から人が住み、支え合いながら生活してきたと言えるのです。

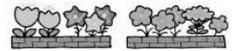
江別市では、野幌丘陵の裾野にあたる様々な所で遺跡が発掘されています。その成果は、江別市郷土博物館に展示されていますので、是非ご覧いただければと思います。

次回は、少し時代が進み「弥生時代」以降にあったことを掲載します。

〔事務局〕



花壇片付けと会館清掃（再掲）



11月6日（日）午前9時

寒くなりましたので、11月6日（日）は9時から花壇の片付けと自治会館の清掃を行います。

自治会館の花壇は、区ごとに整備がされています。花壇の片付けに参加される方は、移植ゴテ、スコップ等をご持参ください。また、会館清掃の際に使用するゴム手袋、雑巾などは生活環境部で準備します。多くの皆様のお手伝い、ご協力をよろしくお願いいたします。

〔生活環境部〕



…今年最後のふれあい市場終了…

10月23日（日）10時から、見晴台自治会館玄関前でえべつ江北まちづくり会が採れたての新鮮な野菜を販売する今年最後のふれあい市場が開催されました。

当日はあいにくの雨にも関わらず、沢山の野菜を購入いただきました。本年度も多くのご利用ありがとうございました。

〔健康福祉部〕



見晴台健康ラジオ体操終了



今年の「見晴台健康ラジオ体操」は、ボランティアの方々のご協力により、8月20日（土）から9月30日（金）まで、雨の日も自治会館大広間でマスク着用や間隔をあけるなどの感染症対策を講じながら42日間、延べ1,240人が参加しました。

会館周辺の皆様には、ラジオ体操の期間中、ご理解、ご協力ありがとうございました。

〔健康福祉部〕



見晴台新そば交流会（再掲）



11月12日（土）10時から見晴台自治会館で「野幌手舞そば」の皆さんがそば打ちを実演し、本格的なだし汁でかきわそばを味わっていただく交流会をむつみ会と共催で開催します。

また、そば打ちの準備時間には、昔の映像を観たり折り紙などでツリーに飾り付けをします。

〔健康福祉部〕



「見晴台のつどい」開催へ向けて準備中！



昨年度は、開催直前に中止となった「見晴台のつどい」を、今年度は12月18日（日）開催の方向で準備を進めています。会館を広く使って、子どもから大人まで、たくさんの方が参加、交流できる企画を考えています。詳細については、自治会だより12月号で!!

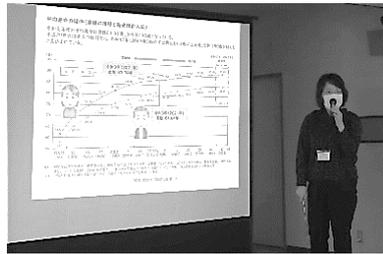
〔事業推進部〕

10月16日(日)午後から、見晴台自治会館大広間で各講座が開催されました。

昨年度は、新型コロナ感染症拡大から中止となりましたが、まず役員を対象に開催し、順次会員の皆さんに広めていきたいと考えています。

◇『災害に役立つ袋入りレシピ講座』 13:00～14:30

災害時の簡単料理の普及等に取り組まれている室田先生を迎え、災害時を想定しビニール袋を使い、カセットコンロで実際に役立つレシピを紹介する料理教室を開催しました。



◇『認知症サポーター養成講座』 15:00～16:30

江別第一地域包括支援センターより講師を招き、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者としてできる範囲で活動するサポーターを養成する講座を開催しました。

〔健康福祉部〕

～【事務局から】～～～～～

お詫びとお願い

10月の行事予定の中で、15日(土)8:30からの資源回収の記載が漏れていました。お詫びいたします。

また、毎月の資源回収には皆様のご協力をお願いしていますが、回収品目の中でもアルミ缶については回収取引単価が高く自治会運営の貴重な財源となります。ぜひ、ご協力をお願いします。

今後も、掲載に関するご指摘のほか、感想などお気づきの点がありましたらお知らせください。

11月事務局員駐在日

11月の事務局開設日は、2日、5日、9日、12日、16日、19日、26日、30日の8日間です。

水曜日は午後1時～4時まで、土曜日は午前9時～12時まで、事務局員が事務室に駐在しています。会費納入のほか、自治会活動に関するご意見、ご相談なども受けていますので、気軽にお立ち寄りください。



毎月第1、第3土曜日 資源回収にご協力を!

見晴台自治会集団資源回収収益金報告
10月(1日、15日)分
41,742円になりました。
ご協力有難うございました。